

第3次階上町生涯学習のまちづくり推進計画

学びの王国 はしかみフラン



階 上 町

はじめに



産業構造の変化や高度情報化社会への対応等、地方自治体を取り巻く環境も大きく変化してきている中、階上町では、第5次階上町総合振興計画「心豊かで安心安全な暮らしと活力あふれる地域をみんなでつくる はしかみ New era plan」を策定し、基本理念である「ゆめ みらい 心ときめく ふるさとづくり」の実現に向け、さまざまな施策を展開しております。

当町では、平成7年に生涯学習推進本部を設置し、まち全体で生涯学習に取り組む体制を整備し、平成14年に第1次計画、平成23年に第2次計画を策定し、生涯学習のまちづくりを進めてまいりました。現在、10年が経過し、長引く経済不況、少子高齢化や核家族化の進行、インターネット・スマートフォン等の普及による高度情報化社会、国の諸施策改革など、本町を取り巻く社会情勢は一層厳しい状況にあります。また、昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行により「新しい生活様式」を余儀なくされ、私たちの生活も大きく変わりましたが、新型コロナに負けず、元気な階上町を取り戻していきたいと思っております。

近年、物の豊かさよりも人生そのものをより豊かに過ごし、充実した生活を送ることが求められてきています。また、町民の学習ニーズも多種多様化しています。そのためには、「いつでも どこでも だれでも」学ぶことが出来、その成果が適切に評価、活用されるような環境づくりをしていかななくてはなりません。

こうした社会情勢を踏まえ、このたび、町民一人ひとりが主役となってまちづくりを創出するため「第3次階上町生涯学習のまちづくり推進計画 学びの王国はしかみプラン」を策定いたしました。学ぶ人を“花”に例え、「まちいっぱい “学び”の花咲く はしかみちょう」を基本理念に掲げ、行政、町民、関係機関等互いに手をとりあいながら、学習活動をとおして『生涯学習』の視点から町民自身が輝く、協働によるまちづくりの実現を目指すものです。

皆様のご理解とご協力をお願い致しますとともに、この計画策定に当たり、ご尽力いただきました関係各位に心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

階上町生涯学習まちづくり推進本部長

階上町長 浜谷 豊美

目次

第1章	計画策定に当たって.....	1
第1節	階上町における生涯学習推進の必要性.....	2
第2節	計画策定の趣旨.....	2
第3節	計画の性格.....	4
第2章	基本構想.....	5
第1節	基本理念.....	6
第2節	基本目標.....	7
第3節	基本体系図.....	8
第3章	基本計画.....	11
第1節	ネットワークづくり.....	12
第2節	環境づくり.....	14
第4章	資 料.....	19
	アンケートまとめ.....	20
	推進本部条例等.....	28
	事業の経過.....	33

第1章

計画策定に当たって

第1章 計画策定に当たって

第1節 階上町における生涯学習推進の必要性

生涯学習を必要とする理由の一つに、一人ひとりの自己実現を図ることが挙げられます。スマートフォン等の普及による高度情報化、地方創生の推進、インバウンド拡大による国際化、少子高齢化により進行する人口減少、核家族による孤立化、高学歴化といったような急激な社会の変化に伴い、学校教育で行う学習だけでなく、ワークライフバランスによる自分のライフスタイルに合わせた総合的、継続的な学習がより重要になってきています。また、近年、「物の豊かさ」よりも「心の豊かさ」、人生そのものを充実したものにするための「生活の質的向上」が求められています。

これらの学習需要に的確に対応していくことは、学習者自身の向上につながるだけでなく、まちづくりは人づくりとも言われるように、※1人財育成につながるものであり、まちの発展に寄与するところが大きいものです。

階上町に「住みたい」「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と思えるまちづくりを推進するために、そこに住む人々がまちをつくり上げる主役となり、まちにある資源を活用しながら「いつでも どこでも だれでも」学ぶことができ、その成果が適切に評価・活用されるような環境の整備を進めていくことが必要です。

※1 人財・・・人は宝であるという認識から、人材を「人財」と表記しています。

第2節 計画策定の趣旨

【背景】

階上町は、青森県の最東南端に位置し、山と海に囲まれた豊かな自然環境に恵まれ、県内では一番早く朝日が昇る町です。隣接する八戸市のベッドタウンとして人口増加を遂げましたが、地域のつながりの希薄化だけでなく、核家族化や共働き家庭の増加による親子等のつながりも弱くなってきています。こうしたことから、家族の絆や地域の絆を強め、心のやすらぎや豊かさを感じられる家庭づくり、地域づくりが重要となっています。

階上町では、町長を生涯学習まちづくり推進本部の本部長とした生涯学習推進体制の整備、学習情報誌の作成、推進大会の実施や現代的課題を解決するための新たな事業をおこすなど、生涯学習の推進に努めてきました。その結果、本町は生涯学習社会の形成に向けて着実な歩みを進めています。

【課題】

第5次階上町総合振興計画では、まちづくりの重点課題として次の8つを挙げています。

1. 自然や景観と調和したまちづくり
2. 都市的基盤の整備
3. 産業の活性化
4. 健康・福祉のまちづくり
5. 協働のまちづくり
6. 移住・定住促進への取組
7. 防災・減災、国土強靱化への取組
8. 健全な財政運営

そして、令和2年8月～9月に町内自主グループ・サークル活動団体に実施した「サークル等活動アンケート調査」では、次のような支援が多く望まれています。（詳細はP19から）

- ① 会員増のためのPR
 - ・ホームページでのお知らせ
 - ・気軽に参加できることのPR
- ② 活動場所の提供
 - ・会場費の減免措置
- ③ 町外類似サークルとの交流会
 - ・文化協会の活動充実
- ④ 講師確保の支援
 - ・指導者、講師等の紹介・斡旋

【ねらい】

この計画は、階上町の“ゆめ みらい 心ときめく ふるさとづくり”（第5次階上町総合振興計画基本理念）と“心豊かで安心安全なくらしと活力あふれる地域をみんなでつくる はしかみ^{※2}New era plan”（同将来像）実現のために、『生涯学習』の視点から町民のよりよい学習環境の整備をするための諸施策を提案するもので、一般行政・教育行政、各分野での事業計画策定の際の指針となります。

また、^{※3}SDGsの達成に向け、町民にこの計画を提案することにより、町政に対して御理解いただくとともに、行政、町民、関係機関等が連携しお互いに手を取りあいながら、持続可能なまちづくりと地域の活性化の実現に向け、まち全体で進める「協働のまちづくり」を期待するものです。

※2 New era：新時代。

※3 SDGs（持続可能な開発目標）：先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標が設定されている。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経

済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととしており、目標の達成に当たっては、全ての関係者の役割が重視されている。国では SDGs 推進本部を設置し、実施方針として、「持続可能で、強靱、そして誰も取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」をビジョンとし、8つの優先課題と具体的施策を掲げている。

第3節 計画の性格

第1項 計画の名称

『第3次階上町生涯学習のまちづくり推進計画 学びの王国はしかみプラン』

第2項 性格

- ・この計画は、本町生涯学習のまちづくり推進の基本になるものです。
- ・この計画は、推進の過程において社会の諸情勢の変化に対応して弾力的に運用するものです。
- ・この計画は、町民に対して、計画の示す方向や施策について理解と協力を求めるものです。

第3項 構成

この計画は、計画策定に当たって、基本構想、基本計画、資料で構成します。

第4項 計画の期間

この計画は、令和3年度から令和12年度までの10か年計画とします。

第5項 他の計画との関連性

この計画は、「第5次階上町総合振興計画」との整合に留意しながら推進するものです。

第2章

基本構想

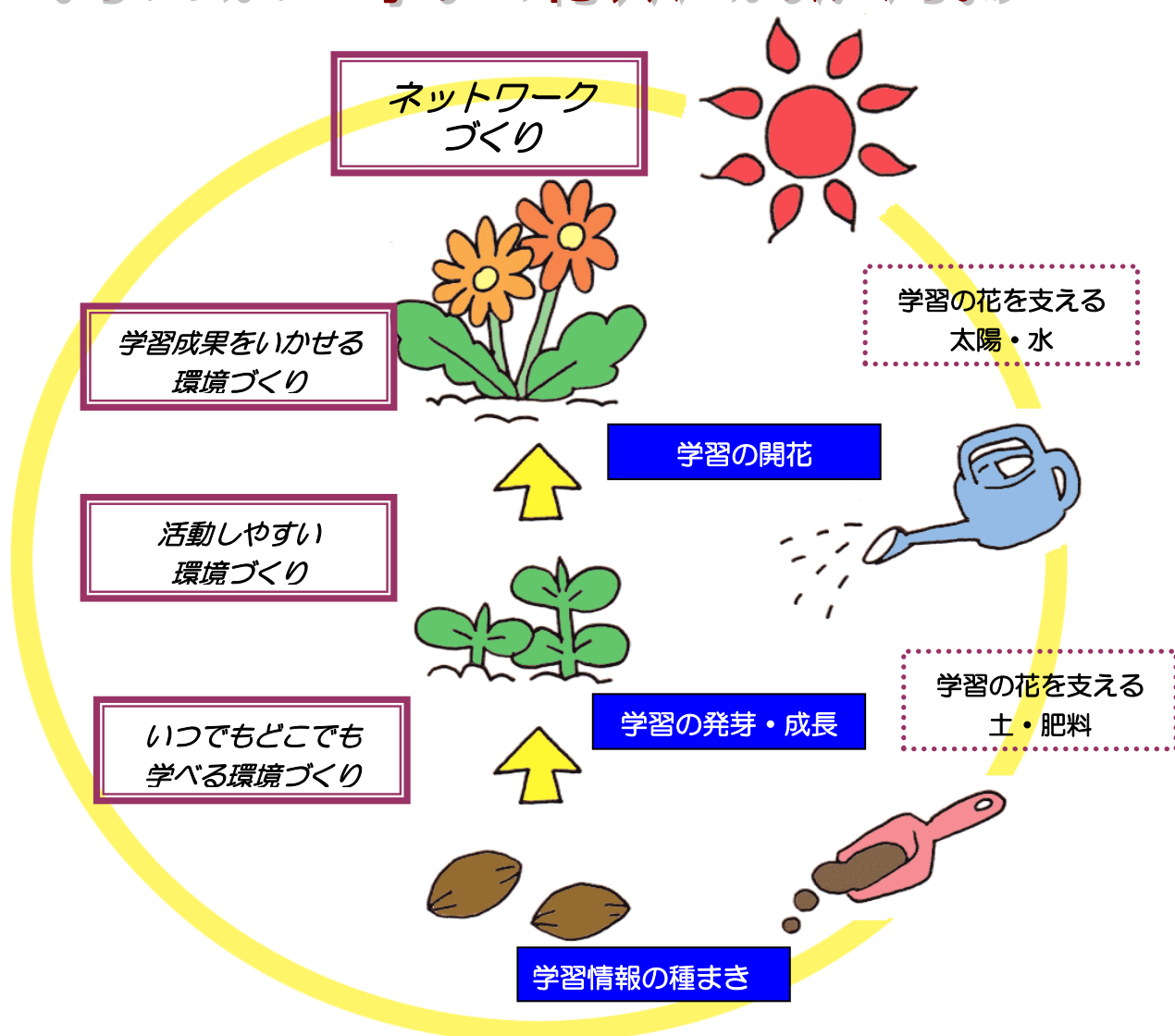


第2章 基本構想

第1節 基本理念

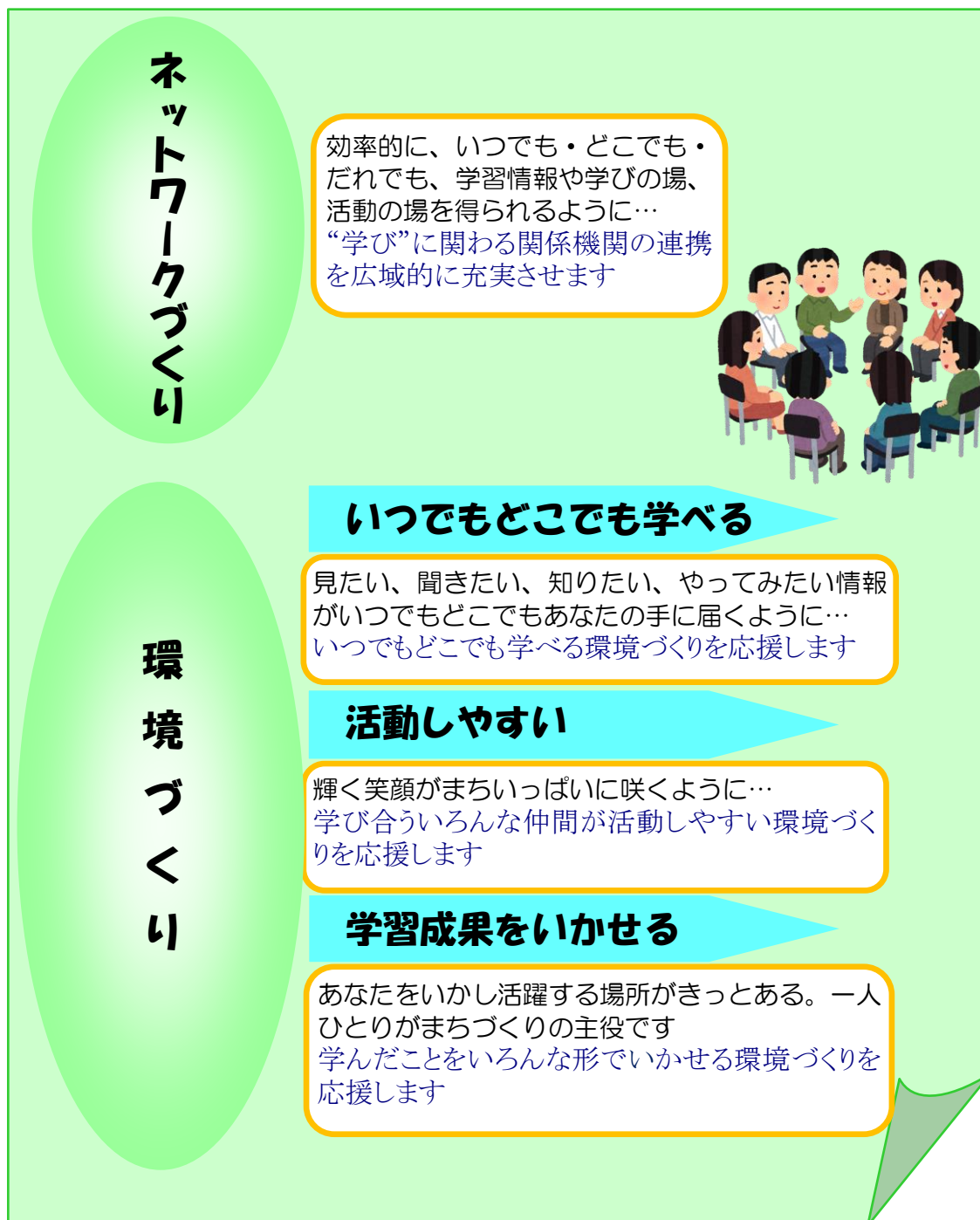
一人ひとりが充実した人生を過ごすために、「学習活動」の振興と学習成果の適切な評価と活用を推進することにより「生涯学習社会」をつくっていくという視点から、次のように基本理念を定めます。

まちいっぱい "学び"の花咲く はしかみちよう



第2節 基本目標

まちにある資源を活用しながら「学習活動」の振興と学習成果の適切な評価と活用を推進する環境の整備等を進めるため、次のように目標を設定します。



階上町民憲章

ゆめ みらい
心ときめく
ふるさとづくり
(第5次階上町総合
振興計画基本理念)

まちいっぱい
“学び”の花咲く
はしかみちょう

(階上町生涯学習
推進計画基本理念)

ネットワーク
づくり

学び合ういろん
な仲間が活動しやすい
ように応援します

輝く笑顔がまちいっば
いに咲くように…

“学び”関係機
関の連携を広
域的に充実さ
せます

効率的に、いつでも
どこでもだれでも、
学習情報や、学び
の場、活動の場を得
るには“学び”にか
かわる関係機関が
広く手をとりあうこ
とが不可欠です。

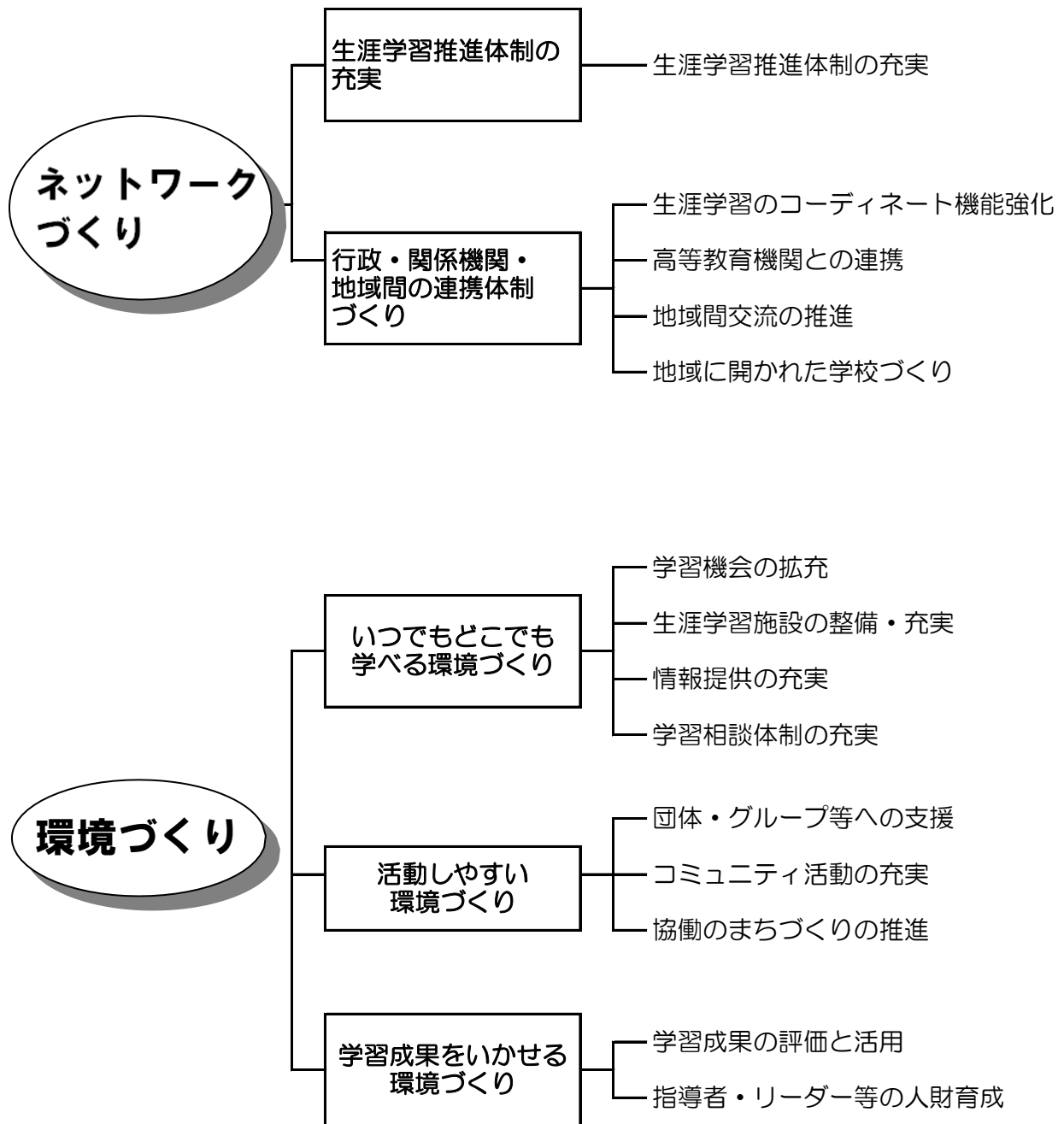
学んだことを
いろんな形でいかせ
るように応援します

あなたをいかし活躍する場
所がきっとある。
一人ひとりが主役です。

いつでもどこでも
学べるように応援します
見たい、聞きたい、知りたい
やってみたい情報が
いつでもどこでもあなたの
手に届くように…

生涯学習推進本部

本部員・庁内検討委員会





第3章

基本計画



第3章 基本計画

第1節 ネットワークづくり

○基本方針

まちいっばいに“学び”の花が咲くためには、「いつでも どこでも だれでも」学べる環境をつくり、どこでも得られる学習情報・学習の場・活動できる場を可能にしないといけません。そのためには、総合行政として全庁的に取り組むとともに、人々の学びに係わる様々な機関の連携と情報の集約・共有が重要です。

また、交通・情報ネットワークの変化とともに人々の行動範囲も広がってきていることから、町内だけでなく、近隣市町村等とも情報を共有するなどの学びのネットワークの広域的な充実を図る必要があります。

第1項 生涯学習推進体制の充実

重点項目	主な推進施策
1. 生涯学習推進体制の充実	○全庁的な連携と協力・情報集約と共有による推進体制の充実 町長を本部長とする生涯学習推進本部の円滑な運営のため、庁内各課・関係機関の生涯学習に関する情報集約と共有を図り、連携・協力体制の充実を図ります。 【主要事業】 ◇生涯学習推進体制の充実 ◇生涯学習情報の集約と共有

第2項 行政・関係機関・地域間の連携体制づくり

重点項目	主な推進施策
1. 生涯学習のコーディネート機能強化	○連携事業の検討 出前講座の実施など、庁内各課だけでなく、関係機関で行っている事業との連携を図ります。 【主要事業】 ◇出前講座 ○情報共有化の促進と学習情報機会の提供 町内はもとより県、近隣市町村にある生涯学習関連施設間での情報の共有化を図ります。

第2節 環境づくり

○基本方針

生涯学習を推進するためには、次の3つの環境づくりが重要です。

(1) いつでもどこでも学べる環境づくり

生涯学習の基本は個人学習です。町民がいつでもどこでも主体的・計画的・系統的に学習するためには、様々な学習機会の充実を図るとともに、いつでもどこにいても得られる学習情報の提供と、学習活動に関する諸問題を解決するための相談に応じる体制をつくる必要があります。

また、関連する学習施設の整備活用等、学習の場を拡充するための環境づくりを行う必要があります。

(2) 活動しやすい環境づくり

学習活動が活発化してくると、グループ等をつくって継続的に学習したいなどの動きが表れてきます。町内には、従来からの子ども、女性、高齢者、芸能、文化等の団体や、目的毎のサークル等様々な団体・グループが活動しています。

自主運営への援助や交流の場を設定するなど、それぞれが目的を持って自主的に活動しやすくする環境づくりに努めます。

(3) 学習成果をいかせる環境づくり

学習活動が活発化してくると、学んだ成果を何らかの形でいかしたい、発表したいという欲求も生まれてきます。生涯学習社会においては、「学習したことが適切に評価される社会」でなければなりません。そのためには、評価の尺度の多様化を図り、学習成果が個人のためにも地域のためにもいかされるような仕組みを検討するなど、学習者の意欲が持続できるような環境づくりに努めます。

また、生涯学習の推進には、指導者や地域リーダー、実践者とコーディネーターの育成・確保が必要です。

豊かな自然と多様な文化を有する階上町の特性をいかした学習活動、地域活動実践のため、優れた人材の発掘による指導者や実践者の確保を図ります。



第1項 いつでもどこでも学べる環境づくり

重点項目	主な推進施策
1. 学習機会の拡充	○生涯の各時期に応じた学習機会の提供 乳幼児期から少年期、青年期、成人期、高齢期の各時期において必要とされる課題や町民からの学習要求を体系的に位置付けながら、社会情勢に対応した多様な学習機会の充実に努めます。 【主要事業】 ◇乳幼児期：子育てや親子の健康に関する相談・健康教室等 ◇乳幼児期：ブックスタート事業 ◇青少年期：わんぱく王国 ◇青少年期：租税教室 ◇青少年期：税に関する作品コンクール ◇成人期：学びの王国！はしかみキャンパス ◇成人期：公民館講座、ふれあい交流館講座 ◇成人期：生活習慣病の予防や健康づくりに関する相談・健康教室等 ◇高齢期：介護予防事業「わんつか元気教室」、 「ハート生き活き事業」 ◇高齢期：生きがい中央大学 ◇全期：階上町の自然環境をいかしたプログラム開発 (巨木めぐり、みちのく潮風トレイルツアー、階上岳ウォーク、グリーンツーリズム等)
2. 生涯学習施設の整備・充実	○関連施設の整備・充実 町内にある公民館、集会所、学校等の既存施設の整備充実を図り、地域の学習の場としての機能の向上を図ります。また、気軽に学習活動できる場として、民俗資料収集館と図書館機能を併せ持った学習施設の整備について検討します。 【主要事業】 ◇既存施設の補修 ◇空き施設等の有効利用 ◇図書資料の充実 ◇図書管理システム・蔵書検索システムの整備、活用 ◇図書館等複合施設の整備を検討
3. 情報提供の充実	○情報収集の整備、提供方法の工夫 行政及び関係機関をはじめ、民間、団体等の学習に関する情報を収集整理し、窓口を一本化することによって適切に情報提供できる体制を整備します。

3. 協働のまちづくりの推進	【主要事業】 ◇広報紙、ホームページ等による地域づくりの紹介 ◇朝のあいさつ運動 ◇地区自主防災組織活動（防災訓練等） ○町民主導のまちづくりのシステム構築 町民と行政との情報の共有化を図ります。また、町民活動を担う団体等の人財育成に努めます。 【主要事業】 ◇協働のまちづくり支援事業 ◇地区計画推進交付金事業 ◇私道等整備特別対策事業 ◇まちづくり団体等への支援 ◇はしかみ健康フォーラム
-----------------------	---

第3項 学習活動をいかせる環境づくり

重点項目	主な推進施策
1. 学習成果の評価と活用	○学習成果の評価 学習活動への参加意欲を喚起するとともに、学習活動に対する社会全体の認識を向上させるため、県民カレッジとの連携や、町独自の単位、認定制度等を活用し適切に評価します。 【主要事業】 ◇修了証の交付 ◇文集や記念誌の発行 ◇展示会等への出展 ◇町文化賞・スポーツ賞の表彰 ◇文化祭ステージ発表等 ◇キャリアアップ・キャリア活用の情報提供 ○マナバンクの有効活用 町内に埋もれている優れた人財を発掘し、特色ある学習活動の指導者の確保（※1 マナバンクへの登録）を図ります。また、広く情報発信し、有効活用を図ります。 ※1 マナバンク・・・「学びの銀行（バンク）」を短縮したもの。特技や経験を持つ方々を登録し、「伝えたい」「学びたい」と思う方々の橋渡しができるような仕組みを作ろうということからできた言葉です。

2. 指導者・リーダー等の 人財育成	【主要事業】 ◇出前講座等への派遣事業 ◇マナビバンク登録と活用方法の見直し ○指導者・リーダー・実践者・コーディネーターの育成 各種講習会への参加支援や養成講座を開講するなど指導者の育成を図ります。また、スポーツ活動の指導者育成や、伝統行事や伝統芸能を保存するため、後継者の育成に努めます。 子ども会など、各段階でのリーダーや「生涯学習のまちづくり」の推進役として、リーダーの育成を図ります。地域活動に係る人財を掘り起こし、地域活動を担う実践者や人・組織を結ぶコーディネーター及び次代の地域を担う若者の育成を図ります。 【主要事業】 ◇各種指導者講習会への参加奨励 ◇ジュニアリーダー等の育成・確保と支援 ◇ガイド団体育成事業 ◇中学校部活動指導員配置事業 ◇企画グループの育成と支援 ◇※<u>2</u>まちづくりコーディネーター養成講座 (はしかみいいとこ広め隊) ◇※<u>3</u>創年チャレンジ大学 ◇民俗芸能の後継者養成及び伝承活動の推進と支援 ◇小中学校の地域伝統文化伝承活動の継続と支援 ◇町食生活改善推進員養成講座 ※<u>2</u> まちづくりコーディネーター・・・地域の課題を洗い出し地域の魅力を再発見し自分たちでまちを元気にしていく活動を行う個人です。 ※<u>3</u> 創年・・・積極的に生き、自分を再活性化させようとする前向きな生き方をする 45 歳以上の個人です。
-------------------------------	--



第4章

資 料



サークル等活動調査 アンケート 【結果報告書】

○調査対象

- ・町内自主グループ・サークル活動団体 36団体

○調査期間

- ・令和2年8月18日から9月7日

○回答数

- ・28団体 回収率 77.7%

設問1 貴団体の活動はどのくらいですか？(毎週土曜日 2 時間 など具体的に記入してください。)

(毎週)

- ・毎週月曜日 13：00～14：30 (1 時間 30 分)、祝日は休み
- ・毎週月曜日、1 時間
- ・毎週火曜日 18：00～21：00 (3 時間)、毎週土曜日 13：00～17：00 (4 時間)
- ・毎週 2 回火曜日と金曜、2 時間
- ・毎週火曜日、2 時間
- ・毎週水曜日、2 時間 30 分
- ・毎週水曜日・日曜日、夏期 13：00～17：00 (4 時間)、冬期 13：00～16：00 (3 時間)
- ・毎週木曜日、1 時間 30 分位 (準備及び片付け実施)
- ・毎週木曜日、月 2 回、2 時間
- ・週 1 回 2 時間、毎週火曜日
- ・毎週木曜日 9：00～11：30、13：30～15：30 (4 時間 30 分、4～10 月)、毎週月・木曜日 9：00～11：30、13：30～15：30 (4 時間 30 分、11～3 月)

(月 2 回)

- ・第 2・第 4 火曜日の資料館開放、年 5 回程度行っている歴史講座
- ・第 2・4 水曜日、9：00～16：00 (7 時間)
- ・第 1、第 2 木曜日 (ハートフルプラザ趣味講座)
- ・第 1、3 金曜日 (1 回 2 時間)
- ・月 2 回程度、11：00～13：00、14：00～16：00 (4 時間)、先生の仕事の休みの日

(月 1 回)

- ・毎月 1 回、土曜日 3 時間
- ・第 1 土曜日
- ・月 1 回 (原則第 2 土曜日) 3 時間
- ・月 1 回のウォーク
- ・月 1 回定例会、年 3 回程度のイベント

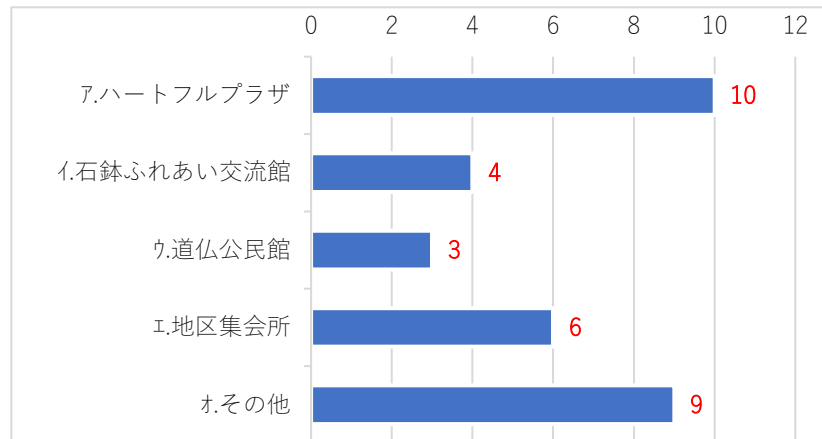
(その他)

- ・月曜日、隔週土曜日
- ・月後半毎日 9：30～15：00 (5～11 月)
- ・月 2 回第 2、第 4 土曜日、14：00～16：00 (4～11 月)
- ・毎月 1 日～12 日、9：30～15：30 (6 時間)
- ・階上町のイベントに参加、臥牛山まつり・町民文化祭、其々の会場にて催事 PR 運用
- ・春 (6 月)、秋 (10 月) 開催の巨木めぐり 2 回、ガイド養成講座 6 回、R1 年度初開催…はしかみジオツアー (9 月)、冬の巨木めぐり (12 月)、その他依頼があれば、巨木めぐりや階上岳、階上海岸などのガイド
- ・町民や団体の要請に基づき随時実施

設問 2 活動場所はどこですか？

活動場所	団体数
ア. ハートフルプラザ	10
イ. 石鉢ふれあい交流館	4
ウ. 道仏公民館	3
エ. 地区集会所	6
オ. その他	9

※未回答 1 団体、複数回答あり



その他・・・

階上岳大開平、自宅（2）陶芸作業所（2）、道仏交流センター、階上町民俗資料収集館、道仏交流センター多目的ホール、町内（階上岳、階上海岸、巨木など）

設問 3-1 活動場所の使用料は1回あたりいくらですか？また一人あたりいくら負担ですか？

（無料）

- ・ 減免（3）
- ・ 無料（3）
- ・ 使用料の発生や負担金は無い
- ・ 文化協会の加盟団体による自主活動のため無料（減免）（2）
- ・ 1回あたり無料、一人あたり 300 円負担（必要経費会長が負担）
- ・ 階上町高齢者通いの場支援事業のため無料
- ・ 役場の援助あり無料（2）
- ・ 無料（町委託のため）

（有料）

- ・ 月 1 人あたり 500 円
- ・ 1 回あたり 500 円、冬 600 円
- ・ 1 回あたり 500 円、1 人あたり月 300 円負担、冬季+300 円
- ・ 1 回あたり 2,000～2,500 円

※未回答 10 団体

設問 3-2 活動にあたり、自己負担額はいくらですか？(1 年、1 月、1 回のいずれでも可)

(年会費)

- ・年間 500 円 (2)
- ・年会費 1,000 円
- ・年間 2,000 円
- ・年会費 2,000 円、先生 2 名の謝金、楽譜のコピー代
- ・年 3,000 円
- ・年 3,000 円 (内文化協会費 1,000 円) 粘土代 400 円/kg (内 240 円を運営費に充当)
- ・年会費 4,000 円 (それ以外はほとんどなし)
- ・年 9,000～15,000 円
- ・年 6,000 円
- ・年 12,000 円 (足代として)

(月会費)

- ・月 300 円
- ・月 500 円
- ・月 1,000 円 (2)

(1 回あたり)

- ・1 回 500 円
- ・1 回/1 人 500 円 (先生への受講料)
- ・1 回 1,500 円
- ・1 回 100 円 (軽食代として)

(その他)

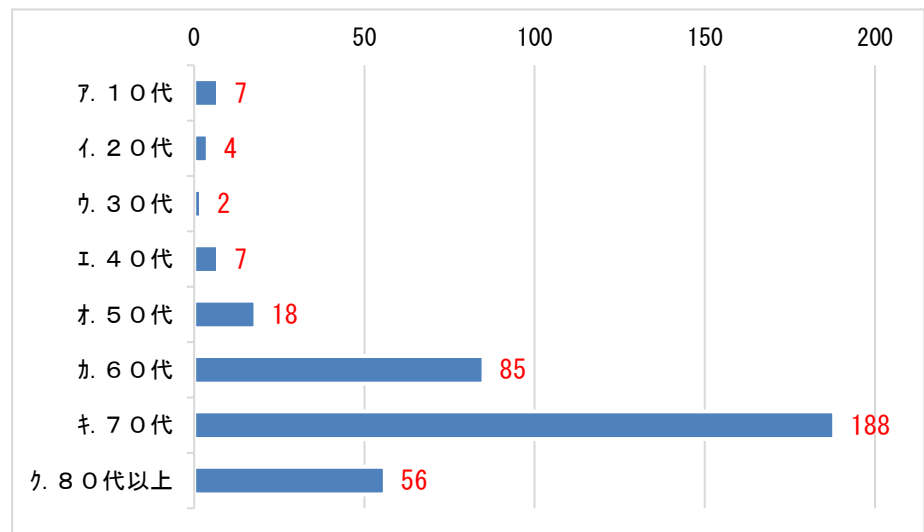
- ・0 円
- ・活動における自己負担金・年会費は徴収していない。免許の更新費用は会長の持ち出しにて対応している。無線機やアンテナは会長の私物や会員からの提供物を使用している。
- ・踊の先生に毎週火曜日 2 時間 2,000 円をお願いしています。
- ・会費 2,000 円、各ウォークの参加費
- ・2,950 円 (花材代)

※未回答 4 団体

設問4 参加者の年齢層はどのような状況ですか？

年齢層	人数
ア. 10代	7
イ. 20代	4
ウ. 30代	2
エ. 40代	7
オ. 50代	18
カ. 60代	85
キ. 70代	188
ク. 80代以上	56

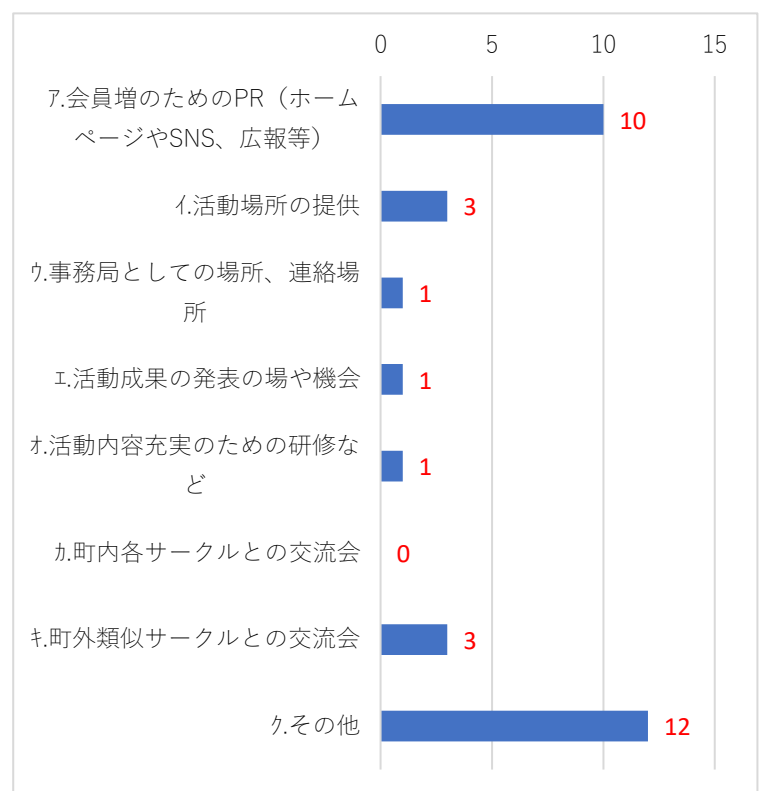
※未回答 1 団体



設問5 活動を継続するにあたり、困っていること、支援してほしいことは何ですか？（複数回答可）

困っていること、支援してほしいこと	団体数
ア. 会員増のためのPR（ホームページやSNS、広報等）	10
イ. 活動場所の提供	3
ウ. 事務局としての場所、連絡場所	1
エ. 活動成果の発表の場や機会	1
オ. 活動内容充実のための研修など	1
カ. 町内各サークルとの交流会	0
キ. 町外類似サークルとの交流会	3
ク. その他	12

※未回答 12 団体



その他・・・

(PR 関係)

- ・町でもたくさんホームページでもお知らせしてもらいたいです。
- ・サークル活動自体、町民にあまり知られていないと思います。もっと、気軽に参加できる事の PR をしてほしいです。
- ・無線に関する様々な知識や機器の操作の方法の PR ができれば良いのですが。免許のいない無線機の紹介（市民ラジオ・デジタル簡易無線等）

(講師関係)

- ・指導者を欲しい。
- ・指導者、講師等の斡旋及び謝礼負担等
- ・講師料金負担額が大きい。

(支援関係)

- ・現状を維持してほしい。文化協会の活動を充実させると共に、他団体との交流を積極的に進める必要がある。
- ・参加者不足のため 1 度のみでなく継続して欲しい。
- ・健康福祉課が事務局として支援実施

(その他)

- ・社会福祉協議会が主体となって行われています。

(会員関係)

- ・会員減少のため令和 2 年 3 月末にて解散
- ・高齢による会員人数の減少。イベント等への参加人数の減少。
- ・高齢化、覇気に欠ける。
- ・人数が少ないので山手と浜手に連絡員を設け連絡している。①運転出来る間はお互いで協力出来ているが年令を重ねていく先々に不安がある。②八戸のコーラスに参加している方もいるので現状で良いのかと思う。③若い方がもう少し参加してほしい。

設問6 学んだことを地域にいかすような活動をしていますか？またいかしてみたいと思いますか？

(慰問関係)

- ・先生がボランティアで見心園のクラブ活動を月1回担当しているので時間に合わせて交代でお手伝いしている。(第2木曜日のAM10:00~10:40、2~3人で参加している)
- ・介護施設へボランティア。
- ・施設慰問演奏等。
- ・介護施設(見心園、あすなろの里、デイサービスみほの、孔明荘、その他)・南部芸能発表会・島守春まつり・その他。

(発表関係)

- ・町文化祭で発表、老人保健施設への慰問、町民運動会での応援、敬老会で披露。
- ・町文化祭作品出品。
- ・作品の展示発表。
- ・町文化祭発表、各地区敬老会発表、老人ホーム発表、婦人会チャリティー発表、洋野町チャリティーショー。
- ・観光PR活動・ガイド養成講座を開催(元年度はガイド養成講座受講者2名が巨木めぐりガイドとして活動)

(指導・ガイド関係)

- ・他施設(はっち等)で生徒さんがワークショップを開催しています。
- ・町民文化祭及び協会文化まつりへの参加及び生きがい中央大学への参加(講師)
- ・「町民文化祭」や「文化まつり」に積極的に参加するとともに学校等の陶芸指導を行っている。
- ・道仏小学校放課後子ども教室で囲碁のルール、マナー、楽しみ方を指導した。
- ・町内の潮風トレイルのコースなどをハイカーへ案内。
- ・町内小学校や一般の来館者への見学案内

(その他)

- ・クラブ紹介でPRしたい。
- ・食生活改善や健康づくりに関する活動をしている。
- ・町民文化祭における出店で地域や子どもたちとの交流を行っている。町子連行事での活動。
- ・地域で活動はしていません。
- ・幅広く無線に関する広報活動が出来れば良いのですが
- ・会としては特に指導せず、自活にまかせている。
- ・会員以外でもその場で実践活動していますので地域に限定していません(八戸市に在住している人も居りますので)

設問7 その他、日頃活動していて感じる事、(こんな活動がしてみたい、やってよかったこと等)でご意見があれば自由にお書きください。

(よかったこと等)

- ・発表した後皆さんの顔が生き生きして、とても良い笑顔に達成感でいっぱいになります。生きる力になります。
- ・活動してみていろいろな話しとかが聞けてよかったと思います。
- ・色々な音楽を聞きながら体を動かす事は心身共にリフレッシュする事が出来ます。また、仲間と週一回会えるのも楽しみの一つです。
- ・心的に明るくなって良かったと感じる。家中にとじこもらない日々をつくらないことを目的としている。
- ・健康維持が出来ている。
- ・毎月の活動が月2回、文化祭や文化まつりへの参加もあり今のところ充実している。町内のバスの利用に合せて練習日設定が必要になるのかなと考えている。

(こんな活動がしてみたい)

- ・体を動かす運動。
- ・災害等に関する電源の確保、無線の活用をPRできれば良いのですが。
- ・一昨年、昨年と年1回生きがい中央大学の川柳の講師を務めさせていただきましたが、皆さん上手なので驚いています。もう少し時間を増やしてもらい、当川柳会への入会へ結びつけられればと願っています。
- ・指導者(ALT)が学校で教えているので(活動を)PRし、地域の英会話クラブにもっと小、中、高校、大学生も参加してほしい。
- ・いつでも「陶芸体験」を受け入れることで、出来るだけ多くの町民に陶芸の楽しさを伝えていきたい。
- ・卓球が出来なくなる年齢になったら、話し合い等の場を設けたい。

(その他)

- ・実際に参加される方は、八戸、洋野からの方が多いです。文化祭での体験には興味を持って下さる方もいます。来年3月で町からの支援が終了するので、今後の会場探しに困っています。(人数がその時で差があるので、会場費をまかなえない時もあります)今後も、できれば会場費の負担(何割かでも)お願いできれば、このままハートフルを使えるのですが…。
- ・会員の高齢化にともない自然消滅の感じで会を終了したいと思います。後は各自趣味の範囲で癒しの音色を愉しみたいと思います。
- ・常に物事に正しく向き合い正しい選別する事

階上町附属機関に関する条例（平成 22 年 3 月 12 日条例第 2 号）

～～階上町生涯学習推進本部～～＜関係部分抜粋＞

（趣旨）

第 1 条 この条例は、法律その他別に定めがあるもののほか、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づく附属機関のうち、条例で設置する町長その他の執行機関の附属機関について、その設置、名称、担任する事項及び委員の構成等に関し必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の組織等）

第 2 条 町長その他の執行機関に別表に掲げる附属機関を設置し、当該附属機関において担任する事項、組織、委員の構成等、定数、任期等は、別表の当該各欄に掲げるとおりとする。

（附属機関の長等）

第 3 条 会長、委員長又は本部長（以下「会長等」という。）及び副会長、副委員長又は副本部長（以下「副会長等」という。）は、別表の会長等及び副会長等の選任方法欄に掲げる選任方法により選任する。

- 2 会長等は、当該附属機関の事務を総理し、当該附属機関を代表する。
- 3 副会長等は、会長等を補佐し、会長等に事故があるとき、又は会長等が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 会長等及び副会長等とともに事故があるとき、若しくはともに欠けたとき、又は副会長等を置かない附属機関において当該附属機関の会長等に事故があるとき若しくは欠けたときは、会長等があらかじめ指定する委員がその職務を代理する。

（任命）

第 4 条 委員は、別表の委員の構成等の欄に掲げる者のうちから町長その他の執行機関が任命又は委嘱する。

- 2 委員等に欠員を生じた場合の補欠の委員等の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第 5 条 附属機関の会議は、必要に応じて会長等が招集する。ただし、附属機関設置後最初の会議又は会長等及び副会長等が不在の場合その他特別の場合の会議は、必要に応じて当該附属機関が属する町長その他の執行機関が招集する。

- 2 会長等は、会議の議長となる。
- 3 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

4 会議の議決は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資料提出の要求等)

第6条 会長等は、必要があるときは、関係者に対し説明その他必要な協力を求めることができる。

(臨時委員等の設置)

第7条 附属機関に、特別の事項の審議、専門事項についての調査、検査及び資料の収集又は助言等のため必要があるときは、臨時委員、専門委員又はアドバイザー（以下「臨時委員等」という。）を置くことができる。

2 前項の臨時委員等は、当該附属機関の属する執行機関が任命する。

(守秘義務)

第8条 委員及び臨時委員等は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、当該附属機関の属する執行機関が規則で定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

別表(第2条、第3条、第4条関係)

附属機関 の属する 執行機関	附属機 関	担任する事項	組織	委員の構成 等	定 数	任 期	会長等及び副 会長等の選任 方法
教育委員 会	階上町 生涯学 習まち づくり 推進本 部	生涯学習の総合 的な企画及び推 進に関する重要 事項の調査及び 審議	本部長 副本部長 委員	教育関係者 産業団体の 関係者 生涯学習関 連団体の関 係者 学識経験を 有する者等	17 人 以 内	2 年	本部長は町長 副本部長は副 町長、教育長、 町議会議長

<他の執行機関は省略>

階上町生涯学習まちづくり推進本部

本部員

本部長	1	町 長	浜谷 豊美
副本部長	2	副 町 長	沼沢 範雄
副本部長	3	教 育 長	丸岡 博
副本部長	4	議 長	林 貢
教育関係者	5	社会教育委員 議長	須藤 留吉
"	6	小中校長会代表	小野 榮悦
"	7	子育て支援センター	千田 慶子
産業団体関係者 各種団体・サークル	8	階上町商工会長	佐京 忠史
"	9	階上町社会福祉協議会長	松橋 竹子
"	10	区長会長	堰合 勝美
"	11	連合PTA会長(階上中学校)	権代 貴則
"	12	連合婦人会長	浜谷 三枝子
"	13	南部芸能協会 会長	内城 慶富
"	14	子ども会育成連絡協議会	伊藤 武男
"	15	文化協会	小沢 勝司
"	16	体育協会	南 修平
学識経験者	17	八戸学院大学地域経営学部教授	根城 隆幸
事務局		教育課長	濱浦 孝子
		社会教育GL	金見 靖子
		学校教育GL	畑山 真也
		社会教育主事	伊藤 航
		社会教育担当	金山澤 智美

○階上町生涯学習庁内検討委員会設置要綱

令和2年7月15日

教育委員会要綱第4号

(目的及び設置)

第1条 生涯学習のまちづくりの実現に向けて、地域住民による主体的な学習活動を支援し総合的、かつ、効果的な生涯学習のまちづくり推進に資するため、階上町生涯学習庁内検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、検討する。

- (1) 生涯学習のまちづくり推進計画策定に関すること。
- (2) 生涯学習の推進に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、生涯学習のまちづくり推進に関し必要な事項

(組織等)

第3条 委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

- 2 委員長は副町長をもって充て、委員は別表に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集し、委員長が議長となる。

(資料提供その他の協力等)

第5条 委員会は、その所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係課その他の者に対し、資料の提出、意見、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育課において処理する。

附 則

この要綱は、令和2年7月15日から施行する。

別表(第3条関係)

No.	職名	役職名
1	委員	教育長
2	委員	総務課長
3	委員	総合政策課長
4	委員	税務課長
5	委員	町民生活課長
6	委員	健康福祉課長
7	委員	産業振興課長
8	委員	建設課長
9	委員	教育課長
10	委員	会計管理者
11	委員	議会事務局長
12	委員	農業委員会事務局長

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
平成6年度			
1.26	生涯学習まちづくり推進本部・推進主任会議設置	合同研修「生涯学習と行政の関わり」 八戸大学教授 内海隆 三八教育事務所 古跡英亜主任社教主事	役場会議室
2.21	生涯学習推進委員会設置及び研修会	「生涯学習は町民の学習意欲から」 元三八教育事務所主任社教主事 下斗米秀夫	役場会議室
2.22	生涯学習企画調査委員会設置、本部・推進主任合同研修	「桶川市における生涯学習コミュニティについて」 桶川市生涯学習課主席主任 嶋田滋	役場会議室
3.2	生涯学習まちづくりセミナー兼社教関係団体リーダー研修会	・特別講演:「田島町における生涯学習のまちづくりの実践について」 田島町社会教育係長 斉藤修一 ・事例発表:「新町の生涯学習モデル」 田島町新町地区区長 芳賀虎美	ハートフルプラザ
平成7年度			
4.10	学習情報紙「学習ウォッチング・はしかみ」毎月配布		
5.1	平成7年度学習プログラム開発委員会議	青少年事業等を中心に学習課題等を検討	役場会議室
9.1	推進本部会議(定例課長会議にて)	・本部員に出納室長を加える ・課長会議の中に本部会議を盛りこんで開催する提案は今後の検討課題 ・各課で行うソフト事業に「生涯学習」の言葉を入れる件は、可能なものより実施	役場会議室
12.21	推進主任会議	毎月1回、定例で会議及び研修会を開催することとする	役場会議室
1.24	推進主任会議・研修	①「生涯学習とまちづくりについて」 元三八教育事務所主任社教主事 下斗米秀夫 ②町総合振興計画後期計画骨子の研修	役場会議室
2.1	推進本部会議及び推進主任合同研修会	「生涯学習と行政の係わり」 八戸大学教授 内海隆 三八教育事務所 伊藤渉一社教主事	役場会議室
2.14	生涯学習推進委員会議・研修	「豊かな生きがい求めて」 三八教育事務所 前田幸夫主任社教主事 伊藤渉一社教主事	役場会議室
2.19	生涯学習とまちづくりを企画する研修会	「まちづくり企画の条件と手法」 九州女子大学教授 福留強	ハートフルプラザ
2.20	生涯学習まちづくりセミナー兼社教関係団体リーダー研修会	基調講演:生涯学習があなたとまちを変える 九州女子大学教授 福留強	ハートフルプラザ
3.1	生涯学習企画調査委員会議及び推進主任合同研修会	講師:六戸町教育委員会課長補佐 松浦勉	役場会議室
3.4	平成8年度における学習・講座・イベント等の調査依頼		
平成8年度			
4.11	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'96」配布	各戸、関係機関 ※A3版→冊子に変わる	
9.18	宮城県登米郡社教主事県外視察研修	・14名来町 ・階上町における生涯学習推進状況について	ハートフルプラザ
2.3	推進本部会議及び推進主任合同研修会	・生涯学習まちづくり推進体制について ・町民対象アンケート「生涯学習意識調査」について ・研修:「八戸市における生涯学習の取り組みについて」 八戸市教育委員会社会教育課長 古跡英亜	役場会議室

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
2.10	企画調査委員会・研修及び東北地区生涯学習のまちづくり研究交流会参加	・町民対象アンケート「生涯学習意識調査」について ・予備調査の実施 ・研究交流会：講演、事例研究発表（企画調査委員15名、事務局4名参加）	役場相談室 軽米町
2.14	推進委員会・研修	・生涯学習まちづくり推進体制について ・町民対象アンケート「生涯学習意識調査」について ・研修「他の町村に学ぶ生涯学習」 三八教育事務所 伊藤渉一社教主事	役場会議室
2.14～24	アンケート「あなたの学習を支援するための調査」実施	対象：町内居住満20歳以上の男女500名	町内
2.27	平成9年度における学習・講座・イベント等の調査依頼		
3.4	生涯学習まちづくりセミナー兼社教関係団体リーダー研修会	・基調講演「町おこし、人づくりを考える」 RAB開発専務 松木宏泰 ・事例発表（うぐいす塾、階上英会話クラブ、大蛇小世代間交流事業） ・シンポジウム「魅力ある自分づくり、そして、まちづくり」 八戸大学副学長、大蛇小学校長、21はしかみんぐ 婦人活動推進連絡協議会、中村礼一郎助役 コーディネーター 内海隆八戸大学教授 助言者 松木宏泰	ハートフルプラザ
3.17～18	「まちづくりプロフェッショナル講座」開催	10名受講（推進委員3、企画調査委員1、推進主任1、一般1、事務局4）	名川町
平成9年度			
4.11	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'97」配布	各戸、関係機関	
6.23	推進本部員・推進主任合同会議・研修	・委嘱状交付 ・生涯学習まちづくり推進体制について	役場会議室
7.14	企画調査委員、推進委員会・研修	・委嘱状交付、生涯学習まちづくり推進体制について ・研修「久慈市の生涯学習まちづくり」 久慈市社会教育課社教主事 小野寺靖 ・「アンケート調査結果から」（八戸大学教授 内海隆）	役場会議室
8.29	二戸地区社教職員等研修会県外視察研修	・13名来町 ・階上町における生涯学習推進状況について、生涯学習が抱える問題について	ハートフルプラザ
9.1	第1回生涯学習推進基本計画草案作成会議	推進主任（16）と企画調査委員（16）で組織	役場会議室
9.16	草案作成専門部会	拡充部会	役場会議室
9.18	草案作成専門部会	評価部会	役場会議室
9.19	草案作成専門部会	推進部会	役場会議室
9.22	草案作成専門部会	支援部会	役場会議室
9.26	草案作成専門部会	拡充部会	役場会議室
10.15	第2回生涯学習推進基本計画草案作成会議	各専門部からの原案の報告及び全体協議 （助言：八戸大学 内海教授）	役場会議室
2.27	専門部代表者会議		役場会議室
3.8	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「自分の可能性と地域の可能性と」 県北欧交流協会会長 熊谷啓子 ・アンケート調査報告 ・実践発表（連合婦人会、町民農園参加者、町民海外研修参加者、ホームヘルパー、ユニホック協会）	ハートフルプラザ
3.11	平成10年度における学習・講座・イベント等の調査依頼		

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
平成10年度			
5.6	生涯学習推進本部・推進主任会議	・事業計画 ・東北地区生涯学習まちづくり研究大会 ・基本計画策定について	役場会議室
5.8	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'98」配布	各戸、関係機関	
6.18	東北地区生涯学習まちづくり研究大会in階上: 第1回プロジェクトチーム会議	要項(案)、役割分担について	役場会議室
6.27	地域アニメーター養成講座「まちづくりゆいっこ塾」 開講	全7回(～10/24)、24名参加	ハートフルプラザ 他
7.31	東北地区生涯学習まちづくり研究大会in階上: 実行委員会本部会議	・実行委員会組織概要 ・要項(案)について	役場会議室
8.31	東北地区生涯学習まちづくり研究大会in階上: 第2回プロジェクトチーム会議	当日の運営について	役場会議室
9.2	軽米町生涯学習推進員視察研修	・7名来町 ・東北大会、ゆいっこ塾の取り組みについて	ハートフルプラザ
9.26～27	東北地区生涯学習まちづくり研究大会in階上	基調講演、分科会、シンポジウム他	ハートフルプラザ
11.3.2	平成11年度における学習・講座・イベント等の 調査依頼		
3月	東北大会記録集発行		
平成11年度			
5.6	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'99」配布	各戸、関係機関	
3.11	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「情報は人生を10倍味わう調味料」 ATVアナウンサー 川口浩一 ・実践発表:(青森市佃第一町内会、八戸市どりいむ、 町親父の会)	ハートフルプラザ
3.15	平成12年度における学習・講座・イベント等の 調査依頼		
平成12年度			
5.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'00」配布	各戸、関係機関	
3.3	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「街は舞台だ！日本は変わる」 YOSAKOIソーラン組織委員会専務理事 長谷川 岳 ・実践発表 十和田湖町いどばたかいぎ、階上ゆいっこ	ハートフルプラザ
3.14	平成13年度における学習・講座・イベント等の 調査依頼		
3.23	生涯学習まちづくり推進本部員会議	・委嘱状交付 ・生涯学習まちづくり推進計画(案)について	役場会議室
平成13年度			
6.8	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'01」配布	各戸、関係機関	
9.20	生涯学習まちづくり推進本部委員会・幹事会合同 会議	・委嘱状交付 ・推進体系について ・生涯学習まちづくり推進計画(案)について 事務局 より説明	役場会議室
11.12	生涯学習まちづくり推進本部 幹事会議	・生涯学習のまちづくり推進計画(案)について 部会毎に基本計画の内容について協議し、一部修 正を加える	役場会議室

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
12.3	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議	・生涯学習のまちづくり推進計画(案)について 幹事会議で出された協議内容について幹事長より報告 原案通り承認される	役場会議室
2.1	生涯学習まちづくり推進本部員会議	・生涯学習のまちづくり推進計画(案)について これまでの策定経過と、幹事会議・委員会議での協議内容について事務局より報告 生涯学習推進体系図について、一部修正を加えることとし、原案通り承認される	役場会議室
2.16	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「まちづくりに参加する!?!」 弘前大学助教授 北原啓司 ・シンポジウム 北原助教授、天童市蔵増地区地域づくり委員会 横浜町菜の花サポーター コーディネーター:町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授	ハートフルプラザ
3月	階上町生涯学習のまちづくり推進計画「学びの王国はしかみプラン」発行	町内関係委員、議員、小中学校、関係機関配布	
平成14年度			
4.30	生涯学習まちづくり推進本部 幹事会議	・委嘱状交付(人事異動による) ・推進本部事業計画(案)について ・学習ウォッチングについて ・プロジェクトチームについて 多方面からの意見を取り入れ、本部の運営、企画調整をするため組織をつくる。メンバーは指名＋公募とする	役場会議室
5.1	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議	・委嘱状交付(人事異動による) ・推進本部事業計画(案)について ・学習ウォッチングについて ・プロジェクトチームについて 役割・位置づけ等明確にした方がよい、多数の職員がすでに委員となっている中でこの組織が機能するのか、メンバーに町民もいれてはどうか等の意見が出、再度事務局で検討することとした	役場会議室
6.6	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'02」配布	各戸、関係機関	
7月	「学びの王国はしかみプランダイジェスト版」発行	各戸、関係機関、全教職員・役場職員配布	
12.20	生涯学習まちづくり推進本部 幹事会議	・推進本部事業について 計画の節を基本に2部会に分け15年度事業実施に向けての協議(町民大会、地域生涯学習活動奨励事業、人材バンク、プロジェクトチームについて)	役場会議室
2.3	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議	・推進本部事業について 前回幹事会議の報告 15事業実施に向けての協議(町民大会、地域生涯学習活動奨励事業、人材バンク、プロジェクトチームについて)	役場会議室
2.23	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「今、ときめいていらっしゃいますか?」 フリーアナウンサー 奥村潮 ・シンポジウム 奥村潮、宮城県名取市 リバイブ名取21 野辺地町馬門自治会 コーディネーター:町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授	ハートフルプラザ
平成15年度			
4月	まちづくり支援事業助成団体募集		
6.9	生涯学習まちづくり推進本部 幹事会議	・委嘱状交付(人事異動による) ・15年度推進本部事業について ・学習活動支援システム(マナバンク)について	役場会議室

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'03」配布	各戸、関係機関	
6.20	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議	・委嘱状交付(人事異動による) ・15年度推進本部事業について ・学習活動支援システム(マナバンク)について	役場会議室
6.23	生涯学習まちづくり推進本部員会議	・委嘱状交付(各委員改選・団体等代表者の変更による委員) ・15年度推進本部事業について ・学習活動支援システム(マナバンク)について	役場会議室
7月	まちづくり支援事業助成団体決定	ソフト事業3/ハード事業11	
7月	学習活動支援システム「マナバンク」登録者募集	町広報、関係機関・団体等	
10.26	「マナバンク」登録証交付式及びボランティア研修会	・登録証交付式 ・研修会 講話: 県生涯学習課 石田一成主任指導主事 事例発表: 名川町楽習アドバイザーバンクについて ・参加 15名	ハートフルプラザ
11.28	「マナバンク」データブック設置	・登録者(3団体11個人/計93名) ・41ヶ所設置(42冊) 小中学校、保育園(所)、児童館、公民館、区長宅、教育委員会	
2.8	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「まちづくりは僕らのもの!トリマチになろう!」 仙台市アーバンネット事務局長 小地沢将之 ・シンポジウム 小地沢将之、小中野公民館長、八戸市市民連携課 八戸大学 前山総一郎教授、 コーディネーター: 町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授	ハートフルプラザ
平成16年度			
4月	「マナバンク」登録者募集		
5月	まちづくり支援事業助成団体募集		
5.31	生涯学習まちづくり推進本部 幹事会議	・委嘱状交付(人事異動による) ・16年度推進本部事業について	役場会議室
6.1	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議	16年度推進本部事業について	役場会議室
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'04」配布	各戸、関係機関	
7月	まちづくり支援事業助成団体決定	※以降、各団体の活動状況を町広報で報告	
7.7～16	「マナバンク」データブック差替	H16登録者(1団体5個人/計18名・1施設)	
9.11	「マナバンク」登録証交付式及びボランティア研修会	・登録証交付式 ・研修会 講話: 三八教育事務所 尾崎官一主任社教主事 ・参加 20名	ハートフルプラザ
2.6	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「感動がまちをつくる」 (有)ブランニング開代表取締役 新田新一郎 ・実践発表 下田町古間木山連合町内会 まちづくり支援事業助成団体活動報告(大蛇海鳴りソーラン育成会、野沢町内会お祭実行委員会) コメンテーター: (有)ブランニング開代表取締役 新田新一郎 コーディネーター: 町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授 ・約190名参加	ハートフルプラザ

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内容	場所
平成17年度			
4月	「マナビバンク」登録者募集		
5月	まちづくり支援事業助成団体募集		
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'05」配布	各戸、関係機関	
7月	まちづくり支援事業助成団体決定	※以降、各団体の活動状況を広報で報告	
8.8～22	「マナビバンク」データブック差替	H17登録者(5団体15個人/計127名、・8施設)	
9.12	「マナビバンク」登録証交付式及びボランティア研修会	・登録証交付式 ・研修会 講話:三八教育事務所 小泉孝一社教主事 ・参加 17名	ハートフルプラザ
1月	18年度まちづくり支援事業助成団体募集		
2.11	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「チーム階上 地域力でまちづくり」 生涯学習ゆめ・みらい研究所所長 工藤日出夫 ・協働のまちづくりについて説明・報告 ・実践発表(まちづくり支援事業助成団体活動報告) 小舟渡かぜの会 はしかみYYクラブ コメンテーター:生涯学習ゆめ・みらい研究所所長 工藤日出夫 コーディネーター:町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授 ・約200名参加	ハートフルプラザ
3月	まちづくり支援事業助成団体決定	※以降、各団体の活動状況を町広報で報告	
平成18年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集		
6.9	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'05」配布	各戸、関係機関	
7.19～31	「マナビバンク」データブック差替	H18登録者(6団体21個人/計134名、・10施設)	役場教育課
7.31	「マナビバンク」登録証交付式及びボランティア研修会	・登録証交付式 ・研修会 講話:三八教育事務所 福田文弘主任社教主事 ・参加 11名	ハートフルプラザ
8.19～10.21	地域アニメーター養成講座「ふるさとかたり塾」開講	協働のまちづくり事業と共催 土曜日、全6回 受講生 35名/修了証交付 28名	
10月	19年度まちづくり支援事業助成団体募集		
2.11	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「わらさんどよ！世界に泳ぎだせ～い！」 大間町まちおこしゲリラ集団「あおぞら組」組長 島康子 ・協働のまちづくりについて説明・報告 ・実践発表:まちづくり活動報告 石鉢小地域子ども安全委員会 タンロピア実行委員会 コメンテーター:あおぞら組組長 島康子 コーディネーター:町生涯学習アドバイザー八戸大学内海教授 ・約200名参加	ハートフルプラザ
3月	まちづくり支援事業助成団体決定		

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
平成19年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集		
6.8	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'07」配布	各戸、関係機関	
7.2	「マナビバンク」登録者活動保険加入	81名加入	
7.9～31	「マナビバンク」データブック差替	H19登録者(6団体21個人/計152名、・14施設)	役場総務課
7.31	「マナビバンク」ボランティア研修会	・研修会 講話:三八教育事務所 下平正明社教主事 ・参加 17名	役場会議室
8.25～ 9.29	地域アニメーター養成講座「ふるさとかたり塾」開講	協働のまちづくり事業と共催 土曜日、全6回 受講生 24名/修了証交付 17名	ハートフルプラザ
10～11月	20年度まちづくり支援事業助成団体募集	町広報及びホームページにて募集	
2.17	生涯学習のまちづくり町民大会	・基調講演「子育てで元気な町づくり！」 NPO法人新座子育てネットワーク 代表理事 坂本純子 ・リレートーク(実践発表) 白銀南中学校 校長 小高進 小中野児童館 館長 平間恵美 アドバイザー: 坂本純子 コーディネーター: 町生涯学習アドバイザー八戸大学 内海教授 ・約200名参加	ハートフルプラザ
平成20年度			
4月	所管が総務課へ変更	教育課より総務課へ生涯学習事業移管	
5月	「マナビバンク」登録者募集		
6.5	「マナビバンク」登録者活動保険加入	101名加入	
6.8	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'08」配布	町内各施設、関係機関 (全戸配布廃止)	
6～3月	「我が地域(まち)通信」発行	町広報にて19行政区のまちづくりを紹介	
7.9～31	「マナビバンク」データブック差替	H20登録者(6団体21個人/計138名、・14施設)	役場総務課
7.31	「マナビバンク」ボランティア研修会	・研修会 講話:三八教育事務所 下平正明社教主事 ・参加 17名	役場会議室
7.4～ 9.5	地域アニメーター養成講座「ふるさとかたり塾」開講	協働のまちづくり事業と共催 金曜日5回、土曜日1回 全6回 受講生 23名/修了証交付 14名	ハートフルプラザ

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
9.28	はしかみいきいきフェスティバル	・食育フォーラム 基調講演「できることから始めよう健やか親子の食育実践」 青森中央短大学長 久保薫 - シンポジウム コーディネーター八戸短大学長補佐 内海隆 - 作文発表 小舟渡小 平戸直稀 - シンポジスト 石鉢小PTA会長 須藤留吉 - 道仏小養護教諭 清水美帆 - 給食センター栄養士 嶋川佐知子 - 階上町保健師 茨島朋子 ・サイエンスショー 東北電力 阿部清人 ・あかちゃんよ〜いどん ・健康体操発表 ・そば作り体験、竹筒鉄砲づくり、パソコン相談、読み聞かせ ・体力測定 ・ウォーキング 約400名参加	ハートフルプラザ 町民体育館
12月	21年度まちづくり支援事業助成団体募集	町広報及びホームページにて募集	
平成21年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H21登録者(7団体18個人/計137名、・14施設)	
5.18	「マナビバンク」登録者活動保険加入	100名加入	
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'09」配布	町内各施設、関係機関	
8.3	日米まちづくりフォーラムinはしかみ	協働のまちづくり事業、八戸大学総合研究所と共催 基調講演:エルトン・ゲイトウッド、リチャードウィップル コーディネーター:八戸大学教授 前山総一郎 情報提供:まちづくり担当 浜浦孝子、浜谷彰 町民会議会長、前区長 桑原定男 通訳:グレッグ・アンソニー ・約80名参加	ハートフルプラザ
11月	22年度まちづくり支援事業助成団体募集	町広報及びホームページにて募集	
1.24	はしかみいきいきフェスティバル	<子育て講座> ・講話「早寝、早起き、朝ごはん」村上こども医院 村上真子 ・実践レポート 石鉢保育園保育士 岩館吏可子、ほっとぽっと 鹿糠美香子、栄養士 岩見美恵子 <親子であそぼ>子育て支援センター階上保育園 <エネルギー出前教室>東北電力放課後ひろば <はしかみ今昔写真展> ・約120名参加	ハートフルプラザ
平成22年度			
4月	「マナビバンク」登録者募集	H22登録者(7団体16個人/計134名、・14施設)	
4.7	「マナビバンク」登録者活動保険加入	92名加入	
4.12	「マナビバンク」データブック配布	H22登録者(7団体16個人/計134名、・14施設)	
4.22	生涯学習まちづくり推進会議①・協働のまちづくり推進検討委員会①合同会議	・委嘱状交付 ・計画策定について内海アドバイザー及び事務局より説明	役場会議室
5.1～5.31	ワーキング部会員公募	町広報及びホームページにて部会員公募	
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'10」配布	町内各施設、関係機関	
6.14 6.16	生涯学習ワーキング部会	サークル等活動の現状及び課題について検討	役場会議室

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
6.24～7.20	「マナビバンク」データブック差替	配置先38か所	役場総務課
7.28	生涯学習計画打合せ①(総務課、教育課)	新計画の方向性、体系についての検討	役場会議室
8.25	生涯学習計画打合せ②(総務課、教育課)	新計画の方向性、体系についての検討	役場会議室
9.1	協働のまちづくり推進検討委員会②	・ワーキング部会の結果について ・新計画への反映について(各課へ持ち帰り)	役場会議室
10.1	協働のまちづくり推進検討委員会③	各課からの修正をまとめる	役場会議室
10.11	はしかみいきいきフェスティバル	<基調講演> ・「災害から命と暮らしを守るために。。。自主防災組織に何ができるか？」災害ボランティア活動支援プロジェクト会議事務局 石井布紀子 <災害伝言ダイヤルについて(NTT)> <消防団による操法披露> <自主防災組織による訓練> <起震車体験> <非常食(炊き出し)の試食> ・約200名参加	ハートフルプラザ
10.20	生涯学習まちづくり推進会議②	・ワーキング部会の結果について ・新計画への反映について	役場会議室
10～11月	22年度まちづくり支援事業助成団体募集	町広報及びホームページにて募集	
11.1～30	生涯学習計画(案)についてパブリックコメント募集	町広報及びホームページにてパブリックコメント募集	
12.1	協働のまちづくり推進検討委員会④	推進本部②とパブリックコメント後の修正案を提示(各課へ持ち帰り)	役場会議室
12.6	生涯学習まちづくり推進会議③	最終計画案の確認	役場会議室
3月	全員協議会	生涯学習のまちづくり推進計画について説明	役場委員会室
3月	第2次階上町生涯学習のまちづくり推進計画「学びの王国はしかみプラン」発行	町内関係委員、議員、小中学校、関係機関配布	
平成23年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H23登録者(6団体11個人/計92名、・11施設)	
6.22	「マナビバンク」登録者活動保険加入	86名加入	
7.1	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'11」配布	町内各施設、関係機関	
10～11月	23年度まちづくり支援事業助成団体募集	・町広報及びホームページにて募集 ※24年度より公募を停止。各町内会へ個別に照会を行い、申請を行う方法へ変更	
11.23	はしかみいきいきフェスティバル	<基調講演> ・「身近にできるエコ活動について～今日から私たちにできることは?～」青森県環境マイスター 大石治男 <環境クイズ大会> ・約120名参加	ハートフルプラザ
平成24年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H24登録者(6団体11個人/計87名、・11施設)	
5.30	「マナビバンク」登録者活動保険加入	87名加入	
6.19	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'12」配布	町内各施設、関係機関	

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
9.2	はしかみいきいきフェスティバル	<山コンinはしかみ> ・グラウンドゴルフ ・交流会（バーベキュー） ・お楽しみ会 ・28名参加	フォレストピア 階上
平成25年度			
4月	「マナビバンク」登録者募集	H25登録者（6団体11個人/計78名、・11施設）	
5.24	「マナビバンク」登録者活動保険加入	76名加入	
6.10	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'13」配布	町内各施設、関係機関（印刷委託廃止、内部印刷切替）	
10.2	生涯学習まちづくりフォーラム	<基調講演> ・「地域活性化における6次産業の役割」 東京農業大学教授 木村俊昭 <八戸学院大学と階上町との連携協定の取組の報告> 総合政策課GL 中屋敷司 <パネルディスカッション> コーディネーター：八戸学院大学学長補佐 田中哲 コメンテーター：木村俊昭 パネリスト：NPO法人ワーカーズコープ階上事業所所長 高野和子、八戸学院大学生 稲塚美紀、総合政策課 伊藤直美 ・約100名参加	わっせ交流センター
平成26年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H26登録者（6団体7個人/計78名、・11施設）	
5.8	「マナビバンク」登録者活動保険加入	70名加入	
6.20	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'14」配布	町内各施設、関係機関	
11.1	生涯学習講演会 （町民文化祭特別講演）	<講演> ・「私の鑑定人生、人の心と技」 西洋アンティーク評論家 岩崎紘昌 ・約160名参加	ハートフルプラザ
平成27年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H27登録者（6団体8個人/計68名、・11施設）	
6.15	「マナビバンク」登録者活動保険加入	54名加入	
7.7	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'15」配布	町内各施設、関係機関	
10.31	生涯学習講演会 （町民文化祭特別講演）	<講演> ・「夢は果てしなく永遠に」 オリンピックメダリスト 池谷幸雄 ・約170名参加	ハートフルプラザ
平成28年度			
4月	所管が教育課へ変更	総合政策課より教育課へ生涯学習事業移管	
5月	「マナビバンク」登録者募集	H28登録者（6団体8個人/計67名、・10施設）	
5.11	「マナビバンク」登録者活動保険加入	51名加入	
6.30	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'16」配布	町内各施設、関係機関	
10～1月	地域課題検討会	「地域アニメーターの養成と発掘について」 県生涯学習課、三八教育事務所、弘前大学教育学部 松本大	ハートフルプラザ 他

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
2.1～2.2	健康フォーラム・健康宣言記念講演会・実践運動教室(全国生涯学習市町村協議会補助金活用)	<講演>2月1日 「座りきりからの脱出」～体と心が喜ぶ運動～ トータルフィット(株) 梅田陽子 「塩分6gと運動による血圧改善」 国立循環器病研究センター医学博士 高田彰 ・約340名参加 <実践!運動教室>2月2日 「座りきりからの脱出実践編」～体と心が喜ぶ運動～ トータルフィット(株) 梅田陽子 「塩分6gと運動による血圧改善・実践編」 国立循環器病研究センター医学博士 高田彰 ・約35名参加	ハートフルプラザ 道仏交流センター
平成29年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H29登録者(6団体7個人/計66名、・10施設)	
6.9	「マナビバンク」登録者活動保険加入	54名加入	
8.19～11.25	まちづくりコーディネーター養成講座「はしかみベース」開講	協働のまちづくり事業と共催 講師：弘前大学教育学部 松本大 土曜日6回、日曜日1回 全7回 受講生 17名/修了証交付 5名	ハートフルプラザ 他
8.31	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'17」配布	町内各施設、関係機関	
11.12	生涯学習まちづくり講演会	<講演> 「人と人がつながるまちづくり」立川市大山自治会相談役 佐藤良子 <ポスターセッション> 「はしかみベース成果発表」 ・約70名	道仏交流センター
平成30年度			
5月	「マナビバンク」登録者募集	H30登録者(6団体7個人/計65名、・10施設)	
5.25	「マナビバンク」登録者活動保険加入	53名加入	
8.31	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'18」配布	町内各施設、関係機関	
9.21～12.14	高校生人財育成事業「はしかみいいとこ見つけ隊」開講	県委託事業「地域のお宝」を学び地域活動を担う 高校生育成事業共催 講師：八戸学院大学地域経営学部講師 井上丹 金曜日4回、日曜日2回 全6回 受講生 24名	ハートフルプラザ 他
1.21	学びとまちづくり研修会	講師：聖徳大学名誉教授 福留強 ・38名参加	役場会議室
令和元年度(平成31年度)			
4月	「マナビバンク」登録者募集	R1(H31)登録者(5団体7個人/計63名、・10施設)	
5.14	「マナビバンク」登録者活動保険加入	55名加入	
5.23～2.15	高校生人財育成事業「はしかみいいとこ広め隊」開講	県委託事業「地域のお宝」を学び地域活動を担う 高校生育成事業共催 アドバイザー：八戸学院大学地域経営学部講師 井上丹 参加者 11名	役場 他
8.3～11.23	わくわく創年チャレンジ!大学(全国生涯学習市町村協議会補助金活用)	土曜日5回、火曜日(祝日)1回 全6回 講師：聖徳大学名誉教授 福留強 他 受講生 14名	ハートフルプラザ 他
8.6	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'19」配布	町内各施設、関係機関	
令和2年度			
4月	「マナビバンク」登録者募集	R2登録者(5団体7個人/計63名、・10施設)	

階上町生涯学習推進事業の経過

年月日	事業	内 容	場 所
5.22	「マナビバンク」登録者活動保険加入	55名加入	
6.16	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議①	・委嘱状交付 ・計画策定について事務局より説明	役場会議室
8.3	生涯学習庁内検討委員会①	計画策定及び生涯学習関連事業の検証について事務局より説明	役場会議室
8.18	サークル等活動調査アンケート実施	36団体中29団体回答 ・サークル等活動について現状と課題の把握	
8.18	学習情報誌「学習ウォッチング・はしかみ'20」配布	町内各施設、関係機関	
10.17	生涯学習元気まちフォーラム	<オープニング> ・「笑顔を習慣に!!免疫力アップ体操!!」フィットネスインストラクター 川口太陽 <基調提言> ・「人生100年時代の生き方」聖徳大学名誉教授 福留強（リモート出演） <実践発表> 新郷村川代地区振興会（新郷村） 階上売り込み隊（階上町） コメンテーター：社団法人全国元気まち研究会（リモート出演）	ハートフルプラザ
12.16	生涯学習計画打合せ①(教育課)	新計画の方向性、アンケート結果の検討	役場会議室
12.23	生涯学習計画打合せ②(教育課)	新計画の方向性、体系についての検討	役場会議室
12.25	生涯学習庁内検討委員会②	・アンケート結果について ・新計画基本計画への反映について（各課へ持ち帰り）	役場会議室
1.18	生涯学習庁内検討委員会③	・各課からの修正をまとめる ・新計画への反映について（各課へ持ち帰り）	役場会議室
2.2	生涯学習まちづくり推進本部 委員会議②	新計画への反映について	役場会議室
3月	生涯学習まちづくり推進本部 委員報告	新計画を報告（郵送）	
3月	全員協議会	生涯学習のまちづくり推進計画について説明	役場委員会室
3月	第3次階上町生涯学習のまちづくり推進計画「学びの王国はしかみプラン」発行	町内関係委員、議員、小中学校、関係機関配布、町ホームページ掲載	



第3次階上町生涯学習のまちづくり推進計画

学びの王国 はしかみプラン

●発行 令和3年3月
階上町
〒039-1201 階上町大字道仏字天当平 1-87
☎0178-88-2111(代)/FAX 0178-88-2117

●編集 階上町生涯学習まちづくり推進本部